

【会議録】

会議名	平成 27 年度 第 4 回鹿屋市スポーツ推進審議会
日時	平成 28 年 1 月 29 日（金） 10 時 00 分～11 時 00 分
会場	鹿屋市役所 4 階 401 会議室
出席者	委員 原口委員、森委員、堀内委員、村田委員、馬庭委員 北村委員、田中委員、川口委員 市民スポーツ課 郷原課長、柿内課長補佐、的場係長、松元主任主事
議事内容	報告事項 （１）第 3 回審議会結果について 協議事項 （１）鹿屋市スポーツ推進計画（素案）について （２）スポーツ推進委員の選考方法について
結果まとめ	議題 1 について、鹿屋市スポーツ推進計画（素案）について、パブリックコメントを実施するため、最終案について意見を徴した。 議題 2 についてスポーツ推進委員の選考方法変更について了承された。
概要 主な意見等	【主な質疑等】 （議事 1）鹿屋市スポーツ推進計画（素案）について 事務局 P21,22 の認識について、記載の考え方でよろしいか 委員 P22 のアンケート結果によるスポーツ実施の状況認識について、アンケートの内容が過去 1 年間にスポーツを実施した人についての集計であり、スポーツ実施頻度について集計されたものではない。よって、このデータに基づきスポーツ実施の 2 極化が進んでいるとまでは言えない。 事務局 P70 の目標設定について、県と同じ数字を目標としているが目標値としてどうか 委員 かのや健康・スポーツクラブについては、生涯学習課の事業との重複や、少年団の減少、さらに 28 年度からの少年団のインターネット登録開始など厳しい状況であるが、目標を達成できるように努力していく。 委員 NIFS は体操・サッカーは多いが貯筋などその他の種目は会員数が少ない。

鹿屋市の競技人口としてはグラウンド・ゴルフが一番多いのか。

事務局 競技人口としてグラウンド・ゴルフは多い。

委員 認知率100%について、フランスでのスポーツクラブでの例として、スポーツ系クラブと文化系クラブが同一の会場で小さなブースを出して活動を紹介するイベントがあった。

参加者からは指導者の顔が見え、活動内容がよくわかるので非常に好評を得ていた。

ジャンルの違うイベントとのコラボなども考えて認知度向上や会員獲得を目指すのもいいと思う。

委員 地域でスポーツ大会をしてみたが親の世代のスポーツ実施率が低い。きっかけがあれば次につながる可能性もあるので、広報だけでなく地道に事業を実施していくことが必要

委員 輝北のまつりで商品にならないピーマンを賞品にして、ダーツを実施した。

スポーツは体験すると楽しさが伝わり、今ではほかのまつりでも依頼がある。

地域でのスポーツテストなども同様で、事業を実施することは大切。

委員 昨年体育大学で実施した体力測定も非常に好評であった。

参加者のスポーツや体力・健康に対する意識が上がる良い機会である。

委員 総合型スポーツクラブの認知度を上げるにはクラブと行政が動く必要がある。

連絡会などがあると良いと思う。

(議事2) スポーツ推進委員の選考方法について

委員 スポーツ推進委員についての理解が進んでいない。

地域ではPTAがするものと思っている人もおり、制度の啓発が必要である。

(議事3) その他

委員 串良の屋内練習場は補助事業で作られたのか。また、利用状況はどうか

事務局	県の補助や国の太陽光発電の補助などを活用している。 利用状況については非常によく、阪神の大和選手の自主トレや韓国の野球チーム合宿などもあり、利用者に喜ばれている。
-----	--